

報道関係者各位

第5回Nasu 661 WINE HILLS、11月8日に収穫祭を開催

那須のフルーツワイン新酒のテイスティングに、樹木医と歩く里山散策コースを新設

農業生産法人ロイヤルベリーズファーム有限会社(本社:栃木県那須郡那須町、代表取締役:室井秀貴／以下、当社)が運営する「Nasu 661 WINE HILLS」は、2026年11月8日(日)に収穫祭を開催します。今年の収穫祭は、里山を歩くところから始まります。耕作放棄地を再生した約91ヘクタールの敷地に散策コースを整備し、この日から公開。樹木医の案内で歩いたあと、その年の新酒を味わっていただきます。



■ 海外では「歩いて楽しむ」ワイナリーが主流

国内のワイナリーは、テイスティングや食事を中心に楽しむ場所として定着しています。一方、同社によれば、海外から訪れる旅行者の間では、畑や周辺の自然を歩き、土地の風景ごとワインを味わうスタイルが主流です。同社は、この散策型のワイナリーの楽しみ方を日本でも広めていきたいと考えています。

■ 御用邸の麓、果樹園と里山が地続きに

敷地は那須御用邸のすぐ南に位置し、醸造用水には御用邸と同じ地下水源を用いています。ブドウだけでなく、ブルーベリーなど多彩な果実を育てる畑と醸造所、その先の里山が地続きにあるのが特徴です。「ワイナリー＝ブドウ畑」という枠を超えた、国内でも珍しいこのスタイルならではの景色を、歩きながら楽しめます。歩くうちに気持ちの軽くなり、すがすがしさを感じられる。同社は、そうした土地の「気」も含めて伝えたいとしています。

コース上には、ブルーベリー園、ブドウ畑、桑畑、湧水の流れる沢、巨岩、朝日と夕景を望む稜線があり、再生の過程で自生が戻ったコゴミなどの山菜も見られます。散策のあとは、テイスティングルーム(約16～18種／1,100円)でのテイスティングや、テラスグリルの薪焼ソーセージグリル(1,650円)、ブルーベリースムージー(600円)などを楽しめます。※価格はすべて税込です。



■ 樹木医とたどる、再生の途中経過

ガイドを務める蓮見一男氏は、樹木医(自然再生士)の資格を持つ同社関係者です。人の手が入らなくなって荒れていた土地が、手入れを再開して14年であらう変わってきたのか。散策は、風景を眺めるだけでなく、里山の再生を読み解く体験になります。

那須地域は、観光庁が2023年に選定した高付加価値インバウンド観光地づくりのモデル観光地「那須及び周辺地域エリア」に含まれます。同社は福島県・栃木県・旅行会社と連携し、「御用邸のふもとの里山を歩く」ことを主題とした周遊コースの造成を進めています。

■ 里山散策コース 概要

公開日:2026年11月8日(日)

コース:30分コース／60分コース【距離2-3キロ】里山ウォークができる服装・靴

ガイド:樹木医(自然再生士) 蓮見一男氏 同行のガイドウォーク

お食事:テイスティング 那須のワイン約10種類 お土産

料金:今年の新種を1本プレゼント 5000円(税別)

■ 本取り組みの社会的意義

◆ 栃木県にとって 県の外国人延べ宿泊者数は327,927人泊と過去最高を更新しました(2025年)。ただし約56%は日光市に集中し、那須町は4.5%にとどまります。名所巡りとは異なる「里山を歩く」という動機は、この偏りを動かす手立てのひとつです。

◆ 日本にとって 里地里山は国土のおよそ4割を占めます(環境省)。その景観を維持する費用を観光の収入で賄えるかは、全国の中山間地域に共通する問いです。同社は「再生の過程そのものを歩いて見てもらう」ことで、その答え

方を試みています。

◆ 地球環境にとって 環境省は、人が手を入れなくなることによる里山の劣化を、生物多様性の「第2の危機」と位置づけています。耕作放棄地を再び手入れし、人が歩ける状態に保つことは、この危機に向き合う具体的な実践です。

■ 代表取締役 室井秀貴 コメント

ここはブドウだけのワイナリーではありません。ブルーベリーやさまざまな果実を育てる丘です。海外では、ワイナリーを歩いて楽しむのが当たり前になっています。御用邸の麓に広がっていた原野を、できるだけそのまま残しながら再生し、里山の中を歩けるようにしました。日本の方も海外の方も、ここを歩くと気持ち良くなる、すがすがしい気持ちになる。そういう「気」が、この土地には流れています。その楽しみ方を、日本でも広めていきたいと思っています。歩いていただくと、この土地が背負ってきたものも見えてきます。ここは明治に人の手が入った開拓の土地です。畑の形も、沢の流れも、そこで働いた人たちが残したものです。そして、木は人より長く生きます。ブドウは何百年と実をつけ続けますし、ブルーベリーも、手を入れていれば私たちの代を超えて残ります。私の寿命はいずれ尽きますが、この丘に植えた木と、里山の形は残る。そう思って、毎年植えています。

■ 収穫祭2026 開催概要

開催日：2026年11月8日（日）

会 場：Nasu 661 WINE HILLS（栃木県那須郡那須町高久丙4515-13）

料 金：5,000円（税込）

内 容：

- ・里山散策ガイドウォーク 10:00～12:00（約2時間）
樹木医・自然再生士 蓮見一男氏 同行
- ・新酒のテイスティング（那須のフルーツワイン 約10種）
- ・園内での食事
- ・お土産として、今年の新酒1本をお持ち帰りいただけます

申 込：Nasu 661 WINE HILLS(info@nasu661winehills.net)

※散策にご参加の方は、歩きやすい服装・靴でお越しください。

■ メディア向け取材会

日時：2026年11月8日（日）10:00-17:00

（10:00～12:00 里山コース案内／12:30～15:00 食事会）

会場：Nasu 661 WINE HILLS

内容：果樹園・ブドウ畑の取材・撮影／里山散策コースの案内（樹木医同行）／代表への個別取材／テイスティング

対象：報道関係者（参加無料）

お申込み：松本(info@nasu661winehills.net)



農業生産法人 ロイヤルベリーズファーム有限会社／Nasu 661 WINE HILLS
栃木県那須郡那須町高久丙4515-13 代表取締役 室井秀貴
【2026年10月15日配信】

■「Nasu 661 WINE HILLS」について

2022年7月に開業した那須町初のワイナリー。ブドウに加え、ブルーベリーをはじめとする多彩な果実を自社農園で育て、醸造・飲食・里山散策までを一つの敷地で営んでいます。総敷地面積は約91ヘクタールで、その大部分は2012年以降に借り受けて再生した耕作放棄地と別荘跡地です。

所在地：栃木県那須郡那須町高久丙4515-13

営業時間：10:00～17:00（年中無休）／テラスグリル 11:00～15:00（L.O.14:30）

アクセス：東北自動車道 那須ICより車で約10分／JR那須塩原駅より車で約30分

Web：<https://www.nasu661winehills.net/> オンラインショップ：<https://661winehills.base.shop/>

公式YouTube：<https://youtu.be/YqxZpsAgtlA?si=PeVsBT27Sjzv3KXZ>

■会社概要

社名：農業生産法人 ロイヤルベリーズファーム有限会社

代表取締役：室井 秀貴

創業：1926年（昭和元年）／設立：2003年8月

事業内容：ブルーベリー・ワイン用ブドウ等の栽培、果実酒、甘味果実酒、リキュールの製造販売、飲食業、小売業

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

農業生産法人 ロイヤルベリーズファーム有限会社／Nasu 661 WINE HILLS 広報担当 松本

TEL:0287-73-0661/ 090-1464-4661（代表取締役：室井秀貴） MAIL:info@nasu661winehills.net